

群馬大学附属病院で加療中の方へ

群馬大学附属病院 産婦人科では、卵巣癌の病気で入院・通院されていた患者さんの診療情報を用いた研究を実施しております。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また、患者さんのプライバシーの保護については法令等を遵守して研究を行います。

あなたの試料・情報について、本研究への利用を望まれない場合には、担当医師にご連絡ください。

研究課題

“群馬県内3施設における卵巣癌Ⅰ期の治療成績に関する後方視的検討”

研究施設

主任施設

群馬県立がんセンター婦人科

研究責任者 中村 和人 研究分担者：山下 宗一、西村 俊夫、峰村 成

共同研究機関

群馬大学医学部附属病院産科婦人科

責任者：尾池 妙

高崎総合医療センター

責任者：青木 宏

研究期間

調査対象期間：2013年1月1日から2022年12月31日の間に治療を受けた卵巣癌Ⅰ期の患者

データ収集期間：倫理委員会承認時～2027年12月31日まで

試料・情報を利用または提供を開始する予定日は2026年11月です。

研究対象となる方

2013年1月1日から2022年12月31日に、群馬県立がんセンター、群馬大学医学部附属病院、高崎総合医療センターにて、卵巣癌Ⅰ期と診断された患者

研究目的

卵巣癌の罹患者数は増加傾向であり、当院における患者数も増加傾向である。組織型は漿液性癌、粘液性癌、明細胞癌、類内膜癌など多様であり、進行期分類も細分化されている。卵巣癌Ⅰ期においては、肉眼的に視認できる腫瘍を完全に切除する目的として手術が行われるが、手術時のリンパ節郭清や術後補助化学療法などの有効性などについては未だに議論の余地がある。今回の研究では卵巣癌Ⅰ期の患者における治療成績を検討しようと考えている。単一施設での症例集積では、解析に必要な症例数を確保することは困難と考えられるため、多施設共同研究として本研究を計画した。

研究方法

診療録から以下の患者さんの情報を収集し、解析します。従って、患者さんには新たな負担は発生しません。

調査内容：年齢、手術内容、進行期、組織型、術後治療の有無、gBRCA 変異または HRD の有無、再発の有無、再発期間、再発の診断方法、再発部位、再発治療、予後

患者情報の保護

個人情報、試料、データ等を正確に検証が可能なように記録し、外部からのアクセスができない場所に保管します。公表の際には個人を特定できないようにして行います。患者の氏名、生年月日、カルテ番号、イニシャルなど患者が同定できる情報は用いませんが、追加調査が必要になる可能性もあります。その場合に備えて、各研究施設において符号を用いて患者情報を保管し、追加調査に対応できるようにする予定です。

研究成果の公表

本研究の成果は、提供者本人及び家族の氏名等が明らかにならないようにして、学会発表や学術雑誌等で公に発表することがあります。

問い合わせ先

373-8550 太田市高林西町 617-1 群馬県立がんセンター 婦人科
中村 和人

電話 0276-38-0771 Fax 0276-38-8386

371-8511 前橋市昭和町 3-39-15 群馬大学医学部附属病院 産科婦人科
尾池 妙

電話 027-220-8429 Fax 027-220-8429